

2003年10月1日  
昭和電線電纜株式会社  
(コード番号 5805)  
富士電線株式会社

## 10 Gbit Fiber<sup>®</sup> 300 シリーズの製品化及び発売

昭和電線電纜株式会社(本社:神奈川県川崎市、社長:富井俊夫)と富士電線株式会社(本社:神奈川県伊勢原市、社長:床呂敏夫)は、ギガビットネットワークを支える新製品開発を強力に推進するため、両社の技術や設備等の経営資源を有効に活用し、新製品開発体制をより強化して取り組んできました。

このたび第一弾として、富士電線(株)が、次世代マルチモード光ファイバケーブル 10 Gbit Fiber<sup>®</sup> 300 シリーズを10月より販売開始いたします。また、今後、同 500 シリーズ(500m Distance)も近々販売する予定です。

### 『 富士電線(株) の 10 Gbit Fiber<sup>®</sup> 300 シリーズ 』

パソコンの高機能化、データの高容量化を背景にLAN配線システムは、100Mbps以上が求められ、バックボーンは、既に1ギガビット伝送では不足してきています。

また、IEEE 802.3ae<sup>-2002</sup>として規格化され主流となった10ギガビットイーサネットを実現する富士電線(株)の10 Gbit Fiber<sup>®</sup> 300 シリーズには、次の特長があります。

#### 1. 既存のアプリケーションに接続しやすい

既存の10Mbps~2.5Gbpsアプリケーションでも支障なく接続することができる次世代マルチモード光ファイバケーブル。

#### 2. 安定したDMD(differential mode delay:モード遅延)特性

伝送帯域が1500MHz・km以上と従来の3倍の伝送帯域であると同時に、新規の規格としてDMD(differential mode delay:モード遅延)特性を追加し、IEEE 802.3ae<sup>-2002</sup>で規格化された10Gbps伝送を実現します。

10GbpsマルチモードファイバのDMD特性(Inner mask DMD:0.33ps/m以下、Outer mask DMD:0.7ps/m以下)を保証し、850nmのVCSELレーザーで300m(300m Distance)までの伝送距離を実現でき、これまでのマルチモード光ファイバより優れた特性を有しています。

#### 3. 各種光コネクタ取り付け加工にも対応

これまでのマルチモード光ファイバケーブルと同様に布設ができ、標準的なFC、SC、LCコネクタの取り付けができます。

また、単心・2心メガネ型・2心丸型・2心平型・4心テープ型・SFF対応各種コード、スペース型・層型・コード集合型・ユニット型に加え水平配線用のディストリビューションケーブルをラインナップ、各種光コネクタ取り付け加工にも対応できます。

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いいたします。

広 報: 昭和電線電纜(株) 総務部 法務・広報グループ 03-5532-1911  
営業・技術: 富士電線(株) 営業本部 情報通信営業課 03-5256-1611